

はじめに

近年、学力や学習意欲、体力さらには生活習慣など、子どもたちを取り巻く様々な教育課題が一段と明確化されてきております。そんな中、新学習指導要領では「生きる力」の重要性が改めて提言されました。

本県におきましても、平成 21 年度より「未来を拓くひたむきな人間力を育む和歌山」の実現にむけての教育の方向性が示され、その中で、特に学校教育においては具体的施策の第一として「確かな学力の向上」があげられました。

当センターでは、本県の学校教育課題のうち特に今年度は、「国際的な読解力を中心とした言語力の育成」、「活用力の向上を目指した算数科学習指導」、「表現力と思考力の向上を目指した理科学習指導」、「外国語活動の効果的な指導」のそれぞれに関する実証的研究をテーマとし、研修員と指導主事による調査研究を進めて参りました。また同様に、「教育相談活動における養護教諭の役割について」の課題研修を行いました。

いずれも学校での教育実践を支援するとともに、先生方の教育力の向上に資することができますようにとの願いのもと、学校現場のご協力をいただきながら研究を深めてきたものでありますが、このほどその成果を紀要としてまとめました。併せて、所員による理科研究「生物遺骸を豊富に含む海岸砂の教材化とその指導例」、および本県の社会教育の基本的方向としてあげられている「地域の活力を育む人づくり」の分野での、社会教育主事による実践報告も掲載いたしました。

以上、今年度の研究の成果と実践の報告が教育現場や社会教育推進の参考となり、新たな取り組みにつながりますことを願いますとともに、多くの方々にご高覧いただき、ご意見、ご指導をいただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、調査研究を進めるにあたり、ご協力をいただきました方々に心よりお礼を申し上げます。

なお、本誌とは別に当教育センターの Web ページには、教育センター学びの丘各課の事業を紹介した「Quarterly Times」及び所員のエッセイ等を載せた「学びの丘だより (Manabi Hills)」も掲載していますので、ご案内申し上げます。

平成 22 年 3 月

和歌山県教育センター学びの丘

所 長 山 田 博 康